



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

## 第2回「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう①(常緑低木・生垣編)」

〈樹木①〉

日時：令和5年5月14日(日) 9:30～12:30

会場：羽根木憩いの森(羽沢3-2)

### 今回の講座の流れ

前半は、憩いの森にある低木の管理や剪定についての説明を受け、安全管理のポイントを確認しました。後半は、実習でチャノキを中心に常緑低木の剪定や高木のひこばえ除去を行いました。

### 各プログラムの様子



講義「憩いの森の低木管理」の様子



刈込みバサミの説明



剪定作業の様子

### 憩いの森の低木管理

憩いの森でよく見られる樹木の生態や種類、剪定の時期や目的、手順を学びました。

その後、講師による実演を交えた生垣の刈込と使用する道具の説明がありました。

### 安全管理の確認

「安全・安心に活動するための8項目」を確認しました。講師からは、特に気を付けたい3つのポイント(危険な生物確認・現場の現状確認・道具の管理取り扱い)の他、服装について注意喚起がありました。

### 低木剪定の手順と方法

剪定する枝の選び方と剪定方法、剪定鋏の正しい使い方を、講師から実演を交えて説明がありました。その後、剪定鋏を使い、枝を切る練習を行いました。

### 剪定作業(常緑低木)

2グループに分かれ、全員でチャノキの剪定や高木のひこばえ除去を行いました。

講師から「剪定の際には剪定する位置、葉と芽の位置と向きを確認する」「剪定後に枝がどのように伸びるか、伸ばしたいかを考えて剪定する」と実演を交え、ポイントを教わりました。

最後に、道具のメンテナンスを行いました。

### ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

### 今回のキーワード

### 森は今、気づきの季節です

(一社)練馬環境造園協会

森の樹木は芽吹きの時季をむかえました。ライトグリーンの若葉を見ながら自然を感じる季節です。どんな花が咲いているのか、匂いはあるのか、小さな実はあるのか、など、感じることはたくさんあります。ちなみに、イチヨウの雌株はこの時季に実がつき始めます。

一方で、芽吹かない枝があるのは枯れている樹木です。危険なため取り除くなどの対処が必要です。芽吹きの際は気づきの季節です。安全に楽しみながら森の樹木を観察してみましょう。

### 森でみつけた!

### 森の果樹



屋敷林の色が残る練馬の森には、果樹のある憩いの森が多くあります。羽沢けやき憩いの森の南側にも柿の木(カキノキ)が2本あり、昔はその実が、おやつや保存食として活用される、生活に大切な樹木だったことが伺えます。

日本では、果樹が道路や公園など公共空間に植栽されることがほとんどありませんが、海外では、有事の国民の食料確保に備え、果樹が植えられており、それらの実は誰もが自由に食べてよいことになっています。現代の憩いの森は、そんな役割も担っているのかもしれない。